

## LED 建築部材照明（一般屋内用）

品番				
タイプ	L1500タイプ	L1200タイプ	L900タイプ	L600タイプ
連結用	NNN (H) 36500RM9	NNN (H) 36510RM9	NNN (H) 36520RM9	NNN (H) 36530RM9
端用	NNN (H) 36505RM9	NNN (H) 36515RM9	NNN (H) 36525RM9	NNN (H) 36535RM9

## ■オプション

電源線挿入用アダプトコネクタ	NNN88500
傾斜型固定金具 15°タイプ	NNN (H) 88515
傾斜型固定金具 30°タイプ	NNN (H) 88530

- ・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

## 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意

## ⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 天井面・壁面・据置取り付け専用です。床面への取り付けはできません。  
壁面について取付方向の制限はありません。
- 器具の改造および構成部品(LED、コネクタなど)の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。  
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁は確実にを行う。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続など)はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- リベコム照明器具、適合コントローラ、リモコン、タブレット、各種インターフェースは、安全管理のため、ペースメーカー、植込み型除細動器、医療電気機器などから15cm以上離して使用する。送信電波が機器に影響を与える可能性があります。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。  
リベコム照明機器からの電波が自動制御装置に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

## ⚠ 注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、粉じんの発生する場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。  
火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所。
- 周囲温度は、5℃～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用すると、火災・耐用年限が短くなる原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取付面のスキマおよび変形の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

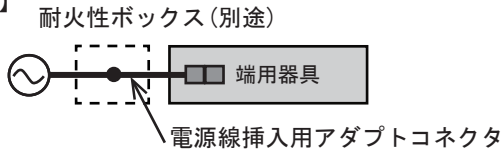
## 施工上のご注意

- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。
- 照射距離が近い時や照射面によって、光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- 突入電流値は、定格に記載の通りです。
- 入力電圧や配線方法によっては、漏洩電流値が点灯時より片切消灯時の方が大きくなりますので、漏電警報器等の感度設定はご注意ください。
- 「タブレットやリモコンとリベコム照明器具、インターフェース、適合コントローラ」「適合コントローラとリベコム照明器具やインターフェース」「リベコム照明器具とインターフェース」「リベコム照明器具間」の通信距離は、障害物のない水平見通し空間で約15mです。障害物や設置環境によっては通信距離が短くなったり電波が弱くなったりします。誤った施工状態、使用方法では、電波の到達距離が低下します。到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所があります。タブレットからの通信はBluetooth®で行います。
- 本器具の通信用スリットと他のリベコム照明器具全て、適合コントローラ、インターフェースとは、10cm以上離して設置してください。近すぎると操作が効かない場合があります。
- 本器具の通信用スリットは、他の埋込型照明器具、金属製の造営材（梁、野縁など）、ダクト、ラインディフューザー、電気配線などから10cm以上離してください。通信性能が低下する場合があります。
- 周辺機器のノイズや障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。
  - ・ リベコムシステムの近くで下記ご使用の際はご注意ください。
    - 携帯電話やPHS電話、スマートフォン・タブレット
    - 直流電圧で駆動するベルやモーター
    - 電子レンジなどの家電製品、パソコンやOA機器、無線LAN対応機器、電子タグ、その他2.4GHz帯の電波を使用する機器、マイクロ波治療器
  - 天井埋込形エアコンや天井吊りプロジェクターなどの金属製品を設置しているとき
  - リベコム照明器具と適合コントローラおよびリベコム照明器具の間を、金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁で遮っているとき
  - リベコム照明器具と適合コントローラおよびリベコム照明器具の間にある壁面内の断熱材に、アルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用しているとき
  - リベコム照明器具の周りを家具や金属製のキャビネット・パーティション・ボードなど金属物で囲んでいるとき
  - 本システムのタブレットやリモコンを操作する人の身体の向きで電波を遮っているとき
  - テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域、または、近くに各種無線局のある場所でご使用のとき
- 保守・メンテナンス時に個別に電源を遮断できるように、リベコム照明器具と適合コントローラの電源系統を必ず分けてください。
- リベコム照明器具はノイズ対策を実施していますが、他機器からのノイズや無線の影響により万一誤動作した時の対策として、リベコム照明器具を個別に電源を入切できるようにブレーカまたはスイッチを設けてください。
- 財産および商業上の損失を被る用途には、手動でリベコム照明器具の電源を操作できるようにするなど、別途安全対策を行ってください。

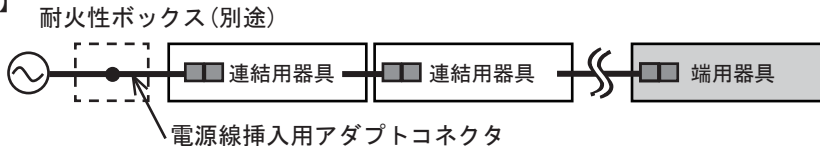
## 配線について

- ・ 電源線は低圧屋内配線工事が必要です。
- ・ 1回路当たり送り容量は4.5A以下としてください。それを超える接続は、火災・故障の原因となります。
- ・ 単体使用および連結終端部には、端用灯具を使用し、連結用器具は施工しないでください。
- ・ 電源接続部は、金属などの耐火性ボックス内に収納し、固定して使用してください。

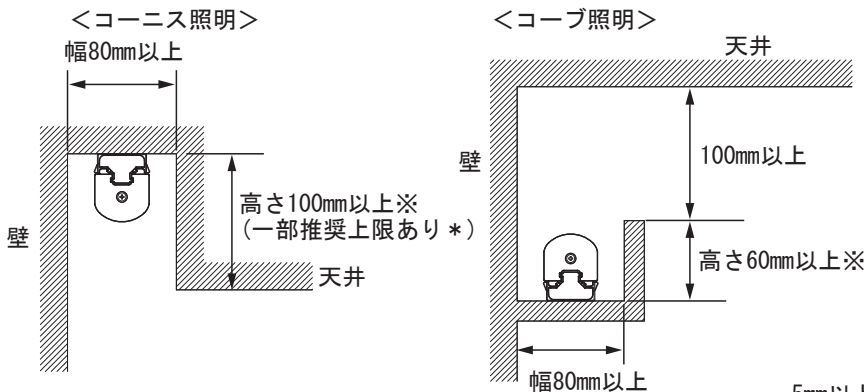
### 【単体の場合】



### 【連結の場合】



## 設置可能寸法

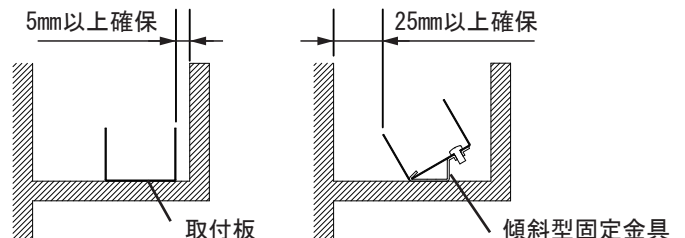


### (注意)

- ・ 設置可能な建築寸法を示しています。
- ・ 光の効果を十分に得るためには、照射面の仕上げ、カットオフライン、壁面、照射面との距離に注意し施工してください。
- ・ ※の寸法は、光の効果を考慮した推奨寸法です。記載値より小さい寸法での使用はできませんが、十分な光の効果は得られません。
- ・ \*の上限は、コネクタ接続作業が困難になるため、幅100mm以下の時のみ高さ150mm以下推奨です。
- ・ 照射方向の開口部にパネルを設置しないでください。火災・耐用年限が短くなる原因となります。

## 取付位置

- ・ 取付板を施工する際は、取付板開口部先端から壁面まで5mm以上のスペースを確保してください。吊り紐が取り付けできず、落下のおそれがあります。
- ・ 傾斜型固定金具オプションを用いる際は、取付板開口部先端から壁面まで25mm以上のスペースを確保してください。灯具を取り付けできなくなる可能性があります。



## システム動作に関するご注意

- 適合リベコム機器との組み合わせにより、光出力を約1%~100%に変化させることができます。  
※リベコム機器(タブレット、リモコン、適合コントローラ)は、カタログ確認の上、ご使用ください。  
※使用方法、注意事項については、個々のリベコム機器の商品図面、取扱説明書、施工説明書をご確認ください。
- タブレット上では、照明器具の調光・調色範囲外の表示または操作が行える場合がありますが、個々の照明器具の調光・調色範囲内での動作となります。
- 1システム当りの制御台数は、リベコム照明器具、適合コントローラ、インターフェースの合計台数が250台以下です。
- 本システムは無線通信で照明器具を制御します。システムを使用する前に、タブレットで制御を行う全てのリベコム照明器具、リモコン、適合コントローラ、インターフェースのシステム登録が必要です。
- システム登録を行う際は、制御を行う機器が配置されていることを確認してください。  
制御対象ではない器具は、システム登録を行わないでください。
- 本システムを複数施工した場合は、他のシステムに誤登録される可能性があります。  
登録しない照明器具の電源を切って実施してください。
- システム登録が完了すると、その他のシステムから設定操作はできません。  
他のシステムから制御を行う場合は、本システムから解除してください。
- リベコム照明器具追加時は、システム登録(全ての照明器具は「電源起動時の点灯状態」になります)を行ってください。  
約1分後から正常動作します。
- リベコム照明器具の設置場所変更、リベコム照明器具交換時は、システム登録を解除した後に、改めてシステム登録(全ての照明器具は「電源起動時の点灯状態」になります)を行ってください。約1分後から正常動作します。
- 内装変更やレイアウト変更などで周囲環境が変化した場合、通信経路が変更となり、変更前と同じ制御ができない場合があります。
- 本通信方式(メッシュ方式)は、タブレットやリモコンとリベコム照明器具、適合コントローラの間、リベコム照明器具の間を無線通信します。通信間で電源が供給されていない照明器具やコントローラ、インターフェースがあると、通信が成立せず、正しく動作しない場合があります。制御対象の機器は、全て電源投入をしてご使用ください。
- 電源投入後、操作可能となるまで約1分お待ちください。
- 本通信方式(メッシュ方式)は、空きチャンネルを探し通信を行います。周囲環境により通信できない場合があります。
- 周囲環境により、照明器具の動作がばらついたり、動作遅延が発生する場合があります。
- タブレットとリベコム照明器具との無線通信ができない場合、照明器具の電源をOFFして、5秒以上時間をあけて再投入してください。
- 下記のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・ 同一品番の照明器具で点灯および消灯時のフェード時の見え方が異なる場合があります。
  - ・ 調光・調色の変化の幅や変化のスピードによっては、動作のズレを感じる場合があります。
  - ・ 明るさの変化が段調光のように動作する場合があります。
  - ・ 対象の照明器具の照明制御(シーン切替など)の開始、終了時間にばらつき(最大5秒程度)が発生する場合があります。但し、他のBluetooth®対応機器を同時に使用した場合、このばらつきが大きくなる場合があります。
  - ・ フェード動作中にリモコンやタブレットで操作を行った場合、フェードなしでシーンが切り替わる場合があります。
  - ・ タブレットやリモコンから遠方の照明器具を制御する場合、制御開始までに時間がかかる場合があります。
- 運転中にリベコム照明器具の電源供給を停止するとシステムに不具合が発生します。できる限り常時通電をお願いします。  
尚、電源供給を停止する範囲が確定している場合は、その領域の補完の為、中継器を設置してください。
- 運転中にシステムの一部のリベコム照明器具の電源をOFFした場合、電源をOFFした照明器具と電源をOFFしていない照明器具では、照明器具の点灯状態が異なる場合があります。
- 復電時(含.瞬時停電時)は、電源遮断前の点灯状態には戻りません。「工場出荷時の明るさ」もしくは、タブレットで設定した「電源起動時の点灯状態」になります。尚、無線通信が遮断された場合は、通信遮断前の点灯状態を保持します。

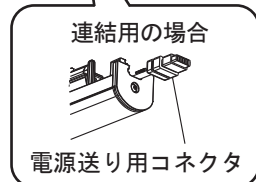
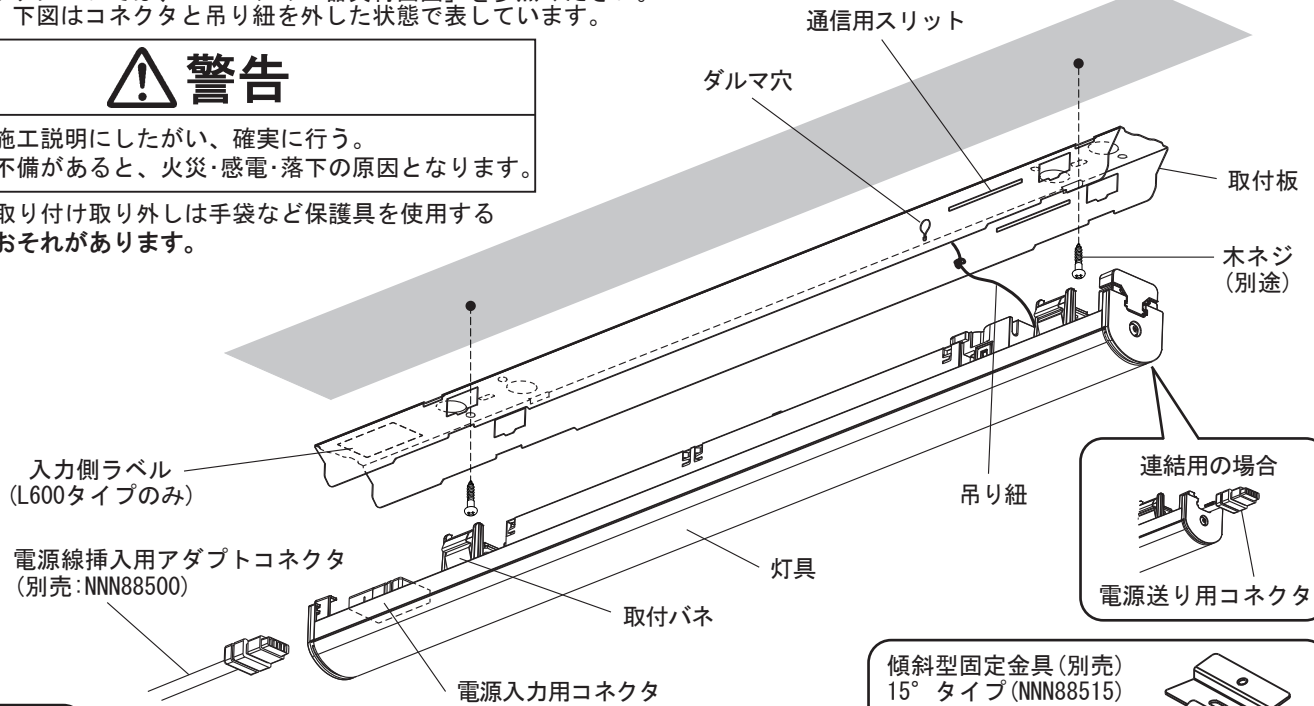
# 各部のなまえと取り付けかた

- ・ NNN36535RM9 (L600タイプ端用) の例で説明しています。
- ・ 取付ピッチについては、5ページの「器具背面図」を参照ください。
- ・ 説明上、下図はコネクタと吊り紐を外した状態で表しています。

## 警告

施工は施工説明にしたがい、確実に行う。  
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

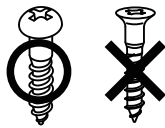
器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する  
けがのおそれがあります。



### 単体/連結共通

## 1. 取付前の確認をする

- ・ 器具質量 (2.0kg : L1500タイプの場合) に十分に耐えるよう、木ネジ取付部の強度を確保する。  
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・ 木ネジ (別途) は、丸木ネジの呼び4.1を使用する。  
皿木ネジは使用しないでください。  
落下の原因となります。



### 単体の場合

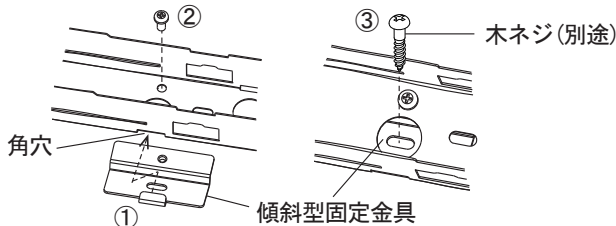
単体取付の場合は、必ず端用器具を使用すること。

## 2. 取付板を取り付ける

- ・ 木ネジで確実に取り付ける。  
木ネジの締めすぎにご注意ください。  
取付穴が大きく変形して、落下の原因となります。
- ・ 入力側ラベルのある方向と、灯具の電源用入力コネクタのある方向が、一致する向きとなるように設置してください。  
向きが異なると、落下の原因となります。
- ・ 他の長さタイプについては、どちらの向きでも取付可能です。(入力側ラベルもありません)

### 【傾斜型固定金具使用の場合】

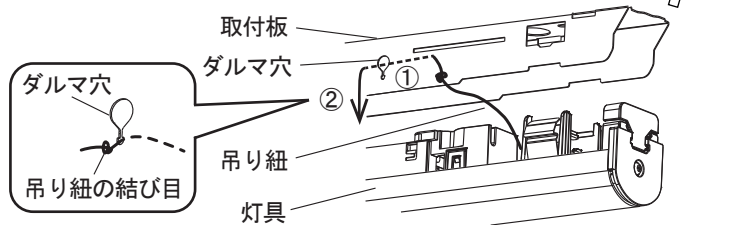
- ① 取付板の角穴に傾斜型固定金具を引っ掛ける。
- ② 付属のネジで固定する。
- ③ 傾斜型固定金具の取付穴に木ネジ (別途) を固定する。



- ・ L600タイプは、傾斜方向によって金具の取付位置が異なります。
- ・ 他の長さタイプは、L600タイプと違って金具の取付位置が決まっています。傾斜したい方向に合わせて取付板の向きを変えてください。
- ・ 取付位置については、5ページの器具背面図を参照

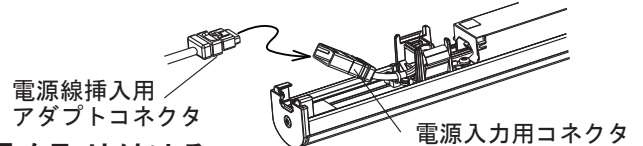
## 3. 吊り紐を取り付ける

- ① 本体の吊り紐 (1本) を、取付板のダルマ穴の内側から外側へ通し、吊り紐の結び目を取付板の外側まで引き出す。
  - ② 吊り紐の結び目をダルマ穴に確実に引っ掛ける。  
取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。
- 注) 取り付け後、手順4を完了するまでに吊り紐だけで宙吊り状態にしないでください。  
落下の原因となります。



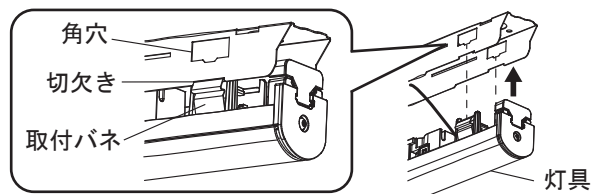
## 4. 電源線、アース線を接続する

- ・ 電源線挿入用アダプトコネクタを、電源入力用コネクタに接続する。カチッと音がするまでしっかり差し込む。
- ・ 電源線挿入用アダプトコネクタの口出し線と電源線を接続する。
- ・ 接続部の絶縁を確実に行う。
- ・ 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従うこと。
- ・ 口出し線の線種：ビニル絶縁電線 線径：0.75mm<sup>2</sup>



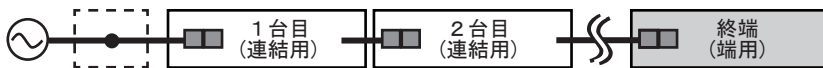
## 5. 灯具を取り付ける

- ・ 灯具の取付パネ (4箇所) と取付板の切欠き (4箇所) の位置を合わせる。
- ・ 灯具を取付板側に押し当て、取付パネを角穴に押し込む。取り付け後、灯具を引っ張り、外れないことを確認する。  
取り付け時、電線の線端みに注意してください。  
不備があると落下・感電・火災の原因となります。



# 各部のなまえと取り付けかた(続き)

## 連結の場合



**警告**

1回路当たり4.5A以下とする。  
容量オーバーした場合、  
火災・感電の原因となります。

- ・電源線挿入用アダプトコネクタと接続する連結用器具を1台目として、端用器具に向かって順番に連結する。
- ・まず取付板をすべて取り付けてから、灯具を順に施工する。

## 2. 取付板を取り付ける

- ・1台目は、3ページ「単体の場合」手順2参照
- ・1台目の取付板から、順に施工する。
- ・取付板の両端凸凹部を突き合わせて、まっすぐになるように設置してください。

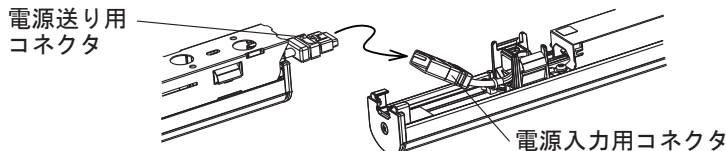


## 3. 灯具(1台目)を取り付ける

- ・灯具(1台目)の取り付けは、3ページ「単体の場合」手順3～5参照

## 4. 灯具(2台目以降)を取り付ける

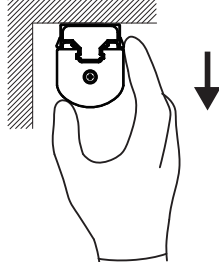
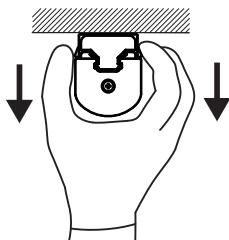
- 吊り紐の取り付け
  - ・3ページ「単体の場合」手順3参照
- 電源線・アース線の接続
  - ・施工する灯具の電源入力用コネクタと、1台前の灯具の電源送り用コネクタを接続する。カチッと音がするまでしっかり差し込む。



- 灯具の取り付け
  - ・3ページ「単体の場合」手順5参照

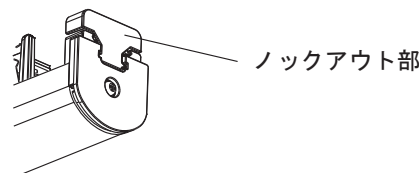
### 【灯具を取り外す場合】※天井取付の例で説明

- ・器具の両側に指が入る時は、両側の取付バネをつまみ、灯具を引き下げて外す。
- ・片側にしか指が入らない時は、取付バネの片側を内側に押しつつ、灯具を外す方向にバネを押し下げて外す。



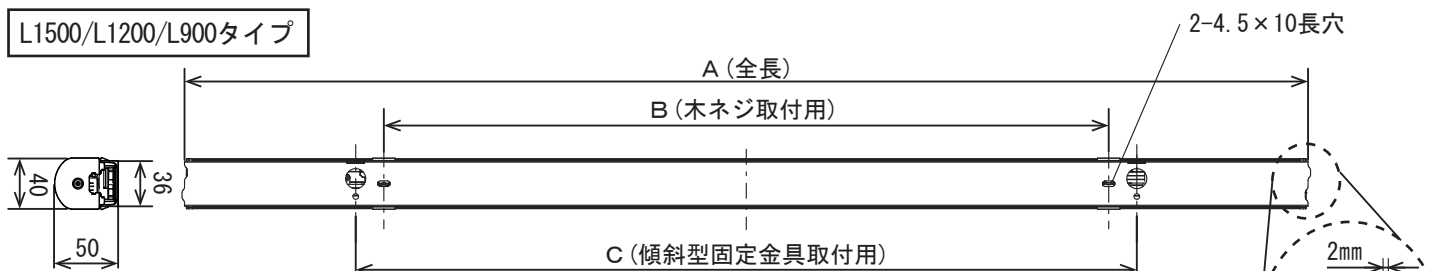
### 【端用器具のノックアウトについて】

- ・端用器具にノックアウト部がありますが、ノックアウト部を外す必要はありません。
- ・誤って外してしまった場合、補修はできませんが品質上問題ありませんのでそのままご使用できます。



## 器具背面図

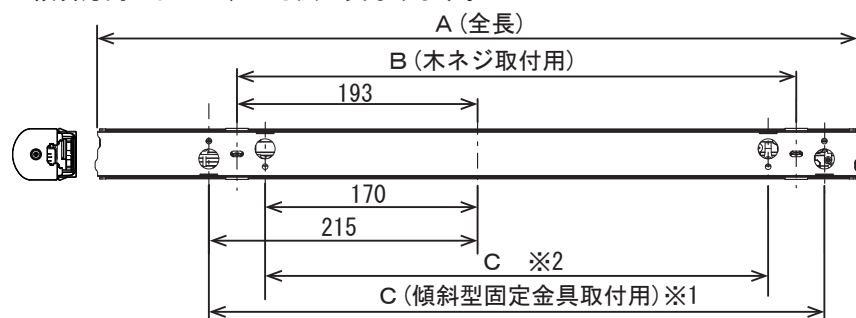
### L1500/L1200/L900タイプ



- 器具取付板の両端に、連結位置合わせ用の突起(2mm)があります。(全長には含めていません)  
突起を考慮して、施工スペースを確保してください。  
突起を含む連結器具長 <1台> A + 4mm(突起両端2つ分)  
<連結> 連結する各器具のA総和 + 4mm

### L600タイプ

- ・B/C寸法は、器具中心に対して非対称です。
- ・傾斜方向によって、C寸法が異なります。



記載ない単位: mm

	A寸法	B寸法	C寸法	器具質量
L1500タイプ	1490	800	845	2.0kg
L1200タイプ	1199	680	725	1.7kg
L900タイプ	899	580	625	1.4kg
L600タイプ (※注)	608	448	(※1) 493 (※2) 403	1.0kg

(※注) B、C寸法は、器具中心に対して非対称  
(※1) 図の上側を底上げして傾斜させる時  
(※2) 図の下側を底上げして傾斜させる時

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 器具の改造および構成部品（LED、コネクタなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。

### 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災・感電の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- お手入れの際は必ず電源を切って行う。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
  - ・LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
  - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
  - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
  - ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

■LED照明器具の光束維持時間は、40,000時間（光束維持率85%）です。

### 使用上のご注意

- LEDは交換できません。
- LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDの構造上、両端の発光面の色味が異なります。
- 低い調光域では色温度のズレが大きくなる場合があります。
- 光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違がある場合があります。
- 点灯時の立ち上がり時間や消灯時の立ち下がり時間が、タイプによって異なる場合があります。
- 電源を切った直後に電源を再投入した場合、LEDが微発光する場合があります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機などの誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- 電源線に大きなノイズが重畳されている環境では、チラツキ等が発生する可能性があります。
- バーコードリーダーの種類によっては、器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。その場合には、器具との距離を離すか、器具の光を遮蔽するなどの対策を講じてください。
- 点灯、消灯時発光色が乱れる場合があります。
- カバーは、熱・湿気による伸縮に対応するため、前後にスライドする構造となっています。
- リベコム照明器具は、電波法に基づく認証済みの無線設備を内蔵しています。
- 無線設備を分解・改造することは法律で禁じられています。
- リベコム照明器具は、外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

## 保証について

- 保証について この商品の保証期間は1年間です。消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。但し、LED電源は3年間です。
- 保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

## お手入れ



### 注意

必ず電源を切って行ってください。  
感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>

- ・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。  
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。  
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。



## ご使用に関するお知らせ

- リベコム照明器具は2.4GHz帯を使用し、変調方式は、ARIB STD -T66で定義される「その他の方式」です。想定される与干渉距離は約40mです。

2.4 XX 4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器

XX : その他の方式

4 : 想定干渉距離40m

————— : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

### 【電波について】

- 本器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 1. 本器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、本システムの運用を中止してください。
- 3. その他、本器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの事が起こったときは、取扱説明書巻末に記載の連絡先までお問い合わせください。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## ■定格・仕様

※4000K、100%点灯設定時

品番	L1500タイプ			L1200タイプ			L900タイプ			L600タイプ		
入力電圧	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
入力電流※	0.26A	0.13A	0.11A	0.22A	0.11A	0.10A	0.18A	0.09A	0.08A	0.12A	0.06A	0.05A
消費電力	25.4W	25.4W	25.4W	21.3W	21.3W	21.3W	17.1W	17.1W	17.1W	11.4W	11.4W	11.4W
突入電流	1.9A	5.7A	7.4A	1.9A	5.7A	7.4A	1.9A	5.7A	7.4A	5.7A	2.9A	4.0A

50/60Hz共通

調色範囲:電球色約2700K~昼光色約6500K

調光範囲:各色 約1~100%

※適合コントローラの仕様により、本器具仕様の調光・調色範囲以外でも設定の操作ができます。器具が指定する操作範囲内でご使用ください。

- リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

### 本製品で利用しているソフトウェアライセンスについて

- \* 本製品のソフトウェアに含まれる著作権及び、ライセンスについてはWebサイトに公開しております。  
([http://www2.panasonic.biz/jp/lighting/brand/libecom/software/pdf/LiBecoM\\_Device\\_licence.pdf](http://www2.panasonic.biz/jp/lighting/brand/libecom/software/pdf/LiBecoM_Device_licence.pdf))
- \* 各ソースコードの内容などについてはご質問にはお答えいたしかねます。

**パナソニック エレクトリックワークス株式会社** 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からのご利用になれます。

0120-872-460 (FAX)